

企業 zoom up
6月27日掲載予定

ビーベストワーク ルーティーンワークにインテリジェンスを

会社業務の花形といえば、一昔前までは“24時間戦えますか？”でおなじみ、スーツで駆け回る営業マン。最近では、キャリアを生かしたスマート感漂う企画部門や広報室が人気だという。しかし、どれだけ時代が変わっても、どれほどの最先端企業でも、必ず縁の下を支え、粛々と社命を全うしている部署がある。“物流部門”と“事務部門”だ。

「会社のバイタルパートなのに、体制へのマネジメントは後回しにされがちです。その分改善の余地も、その効果も大きい」と話すのは、(株)ビーベストワークの剣持社長。当社は、サードパーティとして物流や会社業務代行を手がける新進企業だ。

車も倉庫も持たないサードパーティならではのフットワークと提案力で、請負先の業務マネジメントまでカバーするのが強み。「とにかく淡々とこなされがちルーティーンワークだからこそ、しっかりと頭を使って仕組みを整備すれば、もっと効率やクオリティを追求できるはず」というのが社長の考えだ。単なる業務代行にとどまらず、社外の人間だからできる足元の整備・提案力が大きな魅力になっている。

「物流や事務作業に従事する人の行動こそ、経営に直結するものだと思います。経営者でそこに気付かれない方も多いですね(笑)。当社では、業務を請け負った企業で

一緒にお手伝いしながら、効率とクオリティの向上を提案する“実務実践型”をポリシーにしています」と話す。

このほど販売を開始した倉庫用の耐震マット「gripad-eco」も、得意先の環境整備・現場マネジメントの心から生まれたものだ。

これまでは大手印刷会社や運送業者から請け負った物流部門で実績を残してきたが、今後は事務業務代行をメインに据えるべく、新会社で当社と一体運営の(株)Tokyo girls solutionを設立した。従業員のほとんどが女性で、業務代行に必要な女性ならではの気配りと仕事への細やかさ、そしてビーベストワークから脈々と続く現場マネジメント力が融合した新しいビジネスモデルが特徴。マネージャーの菊池さんは「どうやったらお客さまに喜んで頂けるか考えるのはとても楽しい」と話す。女性社員が輝いている会社は強い。仕事の速さだけでなく、的確な提案力もあって得意先からのリクエストも多いという。

自社の事務部門もちょっと見直してみようかな？とお考えの方は、当社に相談してみたい。日陰になりがちなルーティーンワークに、インテリジェンスという新しい風を吹き込んでくれるはずだ。

(取材・文／東京支社情報部 箕輪 陽介)

—会社概要—

(株)ビーベストワーク

企業コード：981311214

東京都中央区八丁堀 2-29-14、

電話 03-3523-2220

剣持正和社長

設立：1999年4月、資本金：1000万円

事業内容：物流、会社業務代行

年売上高:約6億144万円(2012年2月期、
グループ連結)
従業員:118名(アルバイト・パート含む)
<http://www.beebestwork.co.jp>

(画像キャプション)

「社員が働きやすい環境づくりが社長の役目」と話す剣持社長



耐震マット「gripad-eco」は倉庫作業の安全性を向上させる